

第57回 静岡県公衆衛生研究会 優秀演題ホームページ掲載要旨

分科会名	第 3 分科会	演題番号	334
題名	MLVAを活用した <i>L.pneumophila</i> 対策の提案		
所属	環境衛生科学研究所 微生物部		
氏名	○水本嗣郎 中島慶太郎 大越 魁 小川 紋 森主博貴 石神勝幸 長岡宏美		
要旨 (簡潔に)	<p>旅館や公衆浴場の浴槽水においてレジオネラ属菌が分離された場合には再発防止のため、出来るだけ速やかに汚染源を推定し、的確な清掃及び消毒を実施する必要がある。</p> <p>しかしながら、施設内の複数の箇所から菌が分離された場合には汚染源の推定が困難であることが多く、そのため、漠然と施設全体の清掃及び消毒が実施され、効果的な措置がとられない恐れがある。</p> <p>このため、複数箇所から<i>L.pneumophila</i>が検出された施設において、分子疫学解析手法の1つであるMultiple-locus variable-number tandem repeat analysis (MLVA) を用いて遺伝子型を比較したところ、汚染箇所が推定(絞り込み)され、効率的な衛生管理が可能となることが示唆されたので、その事例について報告する。</p>		